

平成23年度

主要施策の成果

平成24年10月

大田区

平成23年度 主要施策の成果

平成23年度の主な事業（おおた未来プラン10年の主な事業）と決算額は、次のとおりです。
なお、おおた未来プラン10年の主な事業のうち、財政負担を伴う事業のみを掲載しております。

事業名	内容	決算額（円）
基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち		
個別目標1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします		
施策1-1-1 安心して子どもを産めるまちをつくります		
1	妊婦健康診査の充実 妊婦の健康診査にかかる費用の一部を助成（一人当たり14回）し、健診の受診率は85.3%でした。また、妊婦超音波検査（一人当たり1回）及び里帰り等における健康診査費用の一部を助成しました。	425,928,048
2	すこやか赤ちゃん訪問事業の推進 健やかな子育てを支援するため、出生数5,641人のうち、5,512人の乳児家庭を、生後4か月頃までに訪問しました（訪問回数延べ5,612回、訪問率97.7%）。産後うつスクリーニングテスト等により、提供サービスの標準化及び質の向上を図りました。また、子育ての孤立化を防ぐため、様々な不安や悩みを聞き、必要に応じて地域の子育てグループ、養育支援家庭訪問事業、児童館、家事・育児支援サービス等民間の社会資源の情報提供を行いました。支援が必要な家庭には、適切なサービスに結びつけるよう同行受診等により支援しました。	28,766,439
3	両親学級（一日制）の充実 育児に関する保健知識の習得や、両親で子育てをするという意識啓発の一環として、父親の育児参加を促すことを目的に土日を中心に夫婦参加型の両親学級を開催しました（一日制：土日開催29回・参加者延べ1,542人、平日開催1回・参加者21人、三日制：平日開催38回・参加者延べ829人）。土曜日開催の一日制両親学級の参加希望者が多いため、昨年度の実施回数23回のうち6回を2部制とし、参加枠を増やしました（前年度比110組増）。	6,600,278
施策1-1-2 子どもを健やかに育むまちをつくります		
1	親の子育て力向上支援 親同士が相互に学び合うグループを支援する人材（ファシリテーター）を養成するための講座（1回、参加者12人）を開催し、12人の修了者を養成しました。子育ての戸惑いや悩みなどに加え、関心のあることをグループで話し合いながら自分に合った子育てを学んで行くノーバディーズ・パーフェクトプログラムを12コース（1コースは週1回を6週間連続、参加者115人）実施しました。	1,220,438
2	子育て応援サイトの運営 両親・育児学級や子育て講座等、妊娠期から乳幼児向けの情報や、子ども科学教室等小中学生以上向けの情報等、最新の子育て情報を子育て応援サイトで提供しました。平成23年度のアクセス数は484,802件でした。区民委員による「おおた子育てほっとカフェ」の運営については、編集会議（14回）を開催し、区民委員の取材記事の編集を行いました。その内容をサイトに掲出し、子育て中、または子育てを経験した目線を通して、子育てに関する身近な情報提供を行いました。	7,286,531
3	家庭福祉員制度の充実 自宅で2歳未満の乳児を対象に保育を実施する家庭福祉員（保育ママ）の新規認定や、区民住宅の空き室活用による北糀谷グループ保育室の開設で、保育定数を拡大（前年度比5人増）しました。家庭福祉員に、運営費等を助成しました。	121,179,192
4	認証保育所支援 低年齢児保育や長時間保育等のニーズに応えるため、2か所の認証保育所に整備助成を行いました。新規開設及び開所済み施設に定員拡大を働きかけた結果、総定員数が1,353人（前年度比91人増）となりました。	1,456,168,535

事業名		内容	決算額（円）
5	区立保育園の改築・改修の推進	（仮称）新鶴の木保育園については、鶴の木特別出張所と併設で新築工事を行い、竣工しました。入新井保育園については、改築工事が竣工し、定員を11人拡充して開園しました。森が崎保育園については、仮園舎へ移転し、改築工事に着工しました。 みどり保育園の耐震補強等改修工事が竣工し、開園しました。	788,710,601
施策1-1-3 未来を担う子どもたちを育てます			
1	基礎学力の定着	児童・生徒が学力を確実に身に付けられるよう、算数・数学のステップ学習プリント、習熟度別プリントを全小中学校に配布し、取り組みました。 全小中学校で放課後及び土曜補習教室を開催しました。土曜補習教室では算数・数学・英語を各校6回以上実施しました（参加者：小学校延べ18,882人、中学校延べ6,224人）。	109,320,821
2	小中一貫教育の推進	中学との接続を視野に入れた外国語活動プログラムを全小中学校に配布するとともに、プログラムを全小学校の外国語活動年間指導計画に位置付けました。 自然体験プログラムを作成し、小学校第5・6学年、中学校第1学年への指導に生かしました。 キャリア教育では、職場体験連絡会（4回）を開催し、中学校第2学年の職場体験のためのリーフレットの充実を図り、職場体験ガイドの種類の増やしました。 小中一貫教育推進計画を全校で作成しました。また、小中一貫教育モデル地区（志茂田中学校区）における研究を行いました。	273,362
3	不登校施策の充実	ケース会議を開催し、関係機関と連携して対象児童・生徒への対応を検討するとともに、個別適応計画書の様式を見直し、組織的な対応を充実させました。 教育相談員による学校訪問を、全小中学校に実施しました（3回）。 新規開設については、現施設での定数の見直し等を行うとともに、生徒にとってより良い学習環境を確保する観点から、適した場所を検討することとしました。	8,597,818
4	日本語指導教室の充実	小学生（55人）、中学生（26人）に、1人60時間の日本語初期指導を実施しました。蒲田小学校、蒲田中学校において、教科学習等を充実させるために必要な日本語指導を実施しました（小学生23人、中学生38人）。	16,862,865
5	学校施設の改築	羽田中学校の改築については、プール改築、既存校舎解体工事、外構工事が完了しました。 東六郷小学校の改築基本計画が完了しました。 嶺町小学校の改築については、仮設体育館を設置するとともに、体育館、プール棟解体工事を完了しました。また、校舎改築第Ⅰ期工事に着手しました。	945,041,551
6	学校施設の緑化の推進	地球に優しいまちづくりを進めるとともに環境教育の充実を図るため、久原小学校のアプローチデッキの芝生化及び仲六郷小学校の屋上緑化を行いました。	30,126,688
7	学校運営システムの構築	事務事業改善推進委員会（8回）、作業部会（4回）を開催し、学校運営システムの構築進捗報告及び成績処理・文書連絡機能等の課題の検討を行いました。 教育委員会事務局、区立小中学校等94拠点をネットワークで結び、学校運営システムの構築が完了しました。統合型校務支援ソフトを導入し、グループウェア機能の活用を開始しました。 小学校モデル校9校及び中学校全28校で、成績処理機能の活用準備として、通知表等の帳票作成を完了しました。	175,747,745

事業名		内容	決算額（円）
施策1-1-4 のびのびと成長する子どもを見守ります			
1	学童保育及びフレンドリーおおた事業の充実	<p>おおたっ子ひろば（6か所）、フレンドリーおおた（9か所）を運営しました。利用者数は、おおたっ子ひろばが登録学童数4,459人、一般利用延べ71,980人、フレンドリーおおたが登録学童数が4,298人でした。</p> <p>小学校の改築に伴い、小学校内に最大受入れ数60人規模のフレンドリーの設置を検討しました。</p>	878,206,532
個別目標1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります			
施策1-2-1 誰もが健康に暮らせるまちをつくります			
1	健康づくりの推進	<p>区民公募委員等で構成する、おおた健康プラン推進会議（1回）、おおた健康プラン推進会議庁内検討会（2回）を設置、開催し、おおた健康プランの進捗状況等を報告しました。</p> <p>実践編パンフレット「私の健康づくり大・作・戦！」を作成し、パンフレットを利用した健康づくり講演会（3回、参加者215人）を開催しました。</p> <p>がん検診で要精密検査と判定された受診者のうち、精密検査受診不明者について、検診事業の受託者である医師会に照会し、受診状況を確認しました。また、精密検査の未受診者・未把握者に対し、効率的に受診勧奨が実施できる「がん検診システム」の導入に向けた準備を行いました。</p>	1,611,572,727
2	食育の推進	<p>食育検討会（2回）を開催して、おおた健康プランの食育推進等に関する検討を行いました。</p> <p>食の大切さを啓発するため、食育フェア（1回）を開催し、学校・保健所等における食育活動を紹介するパネル展示やレシピパンフレットの配布等を行いました。</p> <p>「食事とサプリメントについて」をテーマとした講習会（1回、参加者59人）を開催したほか、東京誠心調理師専門学校と共催で親子食育教室「レストランシェフキッズ」（1回、参加者61人）、慶応義塾福澤諭吉記念文明塾と共催で親子食育教室「楽しく簡単！親子でLet's食育」（1回、4日制、参加者47人）を開催しました。</p>	426,573
3	地域医療連携の推進	<p>小児医療等、医療に関する講演会（13回、参加者延べ1,470人）を開催し、病気に対する知識の普及を図りました。</p> <p>大田区版の「妊婦セイフティースコア（評価された妊娠・出産のリスクを目安に主治医と相談しながら、妊婦自身の健康管理や、母体・胎児に適した分娩施設を選ぶために役立つもの）」を作成しました。</p>	14,924,154
4	食の安全確保	<p>より高度な衛生管理手法を新たに導入した大規模給食施設等が4施設増加し、21施設となりました。ホームページの東日本大震災に関するお知らせの中に「食品中の放射性物質の検査結果について」を掲載する等、情報の迅速な提供を行いました。法人訪問等により大田区保健所情報メールの周知に努め、メール受信登録団体を、8団体から19団体に増やし、感染症に関する情報やこころの健康等に関する情報を発信（9件）しました。</p>	23,554,305
5	健康危機管理体制の整備・充実	<p>感染症対応マニュアルについて、平成21年度の新型コロナウイルスへの対応等を踏まえ、全面改定を行いました。</p> <p>新たに策定した災対保健所行動マニュアルに、震災時の初動期の、避難所等における区民の健康管理や感染症、食中毒防止対策の項目を設け、様式や啓発活動に用いる広報・周知チラシ等を整備しました。</p> <p>新型コロナウイルスの流行時に備え、遺体袋の備蓄を進めるとともに、アルコール消毒剤の備蓄場所確保について検討を行いました。</p>	2,888,009

事業名		内容	決算額（円）
施策1-2-2 ユニバーサルデザインのまちをめざします			
1	ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針の策定・推進	<p>おおたユニバーサルデザインのまちづくり区民推進会議（2回）、UD推進部会（1回）、UD普及部会（1回）を設置、開催し、区民等とユニバーサルデザインのまちづくりの普及、推進等について検討しました。</p> <p>おおたユニバーサルデザインのまちづくりパートナー（UDパートナー）登録制度を設け、区民を登録（29人）しました。UDパートナーによる施設点検（3か所）や、UDパートナーを対象とした研修（2回）を実施しました。</p> <p>山王、馬込、池上地区が東京都のユニバーサルデザイン福祉のまちづくり事業のモデル地区に指定され、小中学校でのユニバーサルデザイン教育の推進等モデル事業を推進しました。</p>	2,294,853
2	誰にもわかりやすいサイン整備	<p>サイン整備推進委員会（1回）を開催し、各部局が進めているサイン整備に関する情報共有化を行いました。</p> <p>「大田区サイン基本計画」に掲げる事業について、平成22年度中の取り組み実績をとりまとめ、ホームページ等で公表しました。</p> <p>羽田・大森地域に、外国人旅行者、障がい者、高齢者等が安心して観光を楽しめるよう、大型・中型サインを20基設置しました。</p>	26,261,970
施策1-2-3 障がい者が地域で安心して暮らせるまちをつくります			
1	（仮称）障がい者総合サポートセンターの設置	<p>庁内検討委員会（3回）、作業部会（3部会、延べ33回）を開催し、サポートセンター設置、障がい者福祉施策の再構築について検討したほか、外部委員の意見を求めるため、検討委員会（6回）を開催しました。また、基本設計に着手しました。</p> <p>地域自立支援協議会専門部会（4専門部会（相談支援部会、防災部会、精神障がい者の就労支援部会、障がい福祉情報サービス部会））が開催（37回）され、議論の内容をサポートセンター事業実施計画、障がい者福祉施策の再構築、施設設備に盛り込みました。</p> <p>サポートセンター事業実施計画を作成し、概要を第3回地域自立支援協議会全体会に報告しました。</p>	18,533,990
2	就労支援の充実	<p>障がい者の一般就労を促進するため就労相談を実施し、相談件数は6,340件（うち新規相談165件）でした。</p> <p>就労支援ネットワークを活用して就労促進支援を行い、56人が新規就労しました（障害者就労支援センター14人、特別支援学校新卒21人、通所施設21人）。</p> <p>就労促進支援の一環として、一般企業及び区役所で職場体験実習（参加者延べ114人）を実施しました。</p> <p>就労定着支援者数は400人となり、会社訪問、就業生活相談、仲間との余暇の場の提供等を行いました。</p> <p>精神障がい者の就労支援ネットワークに基づく支援体制の構築については、地域自立支援協議会精神障がい者の就労支援部会（9回）において、就労支援ネットワーク構築の検討を行ったほか、企業・支援者向け研修会（1回、参加者78人、うち企業から32人）を実施しました。</p>	8,989,264
3	地域生活移行支援（グループホーム等）の充実	<p>親なき後の障がい者等の自立をサポートするため、グループホーム・ケアホームの整備支援を行い、2施設が開設しました。</p> <p>入院している精神障がい者が退院後安定した地域生活を送ることができるよう、入院中から退院準備に向けた支援や、退院後の治療中断防止等の支援を行う地域生活移行支援コーディネーター（1人）を、昨年度に引き続き配置し、24人が利用しました。</p> <p>地域生活安定化支援調整会議（3回）を開催し、障害者自立支援法の改正を見据え、今後の課題等を検討しました。</p>	16,959,300

事業名		内容	決算額（円）
4	ふれあい広場事業の充実	平成23年10月に「しょうがい者の日のつどい」（1回、参加者2,800人）を開催し、クラシックコンサート、ふれあいコンサート、手話コーラス等を実施しました。障がい者以外の区民を有料制とし、良質のクラシックコンサートを実施することで、新たな参加者を募りました。大森東福祉園、こども発達センターわかばの家等16の施設では、福祉施設まつりを開催しました。 障害者福祉強調月間を実施し、パネル展（3か所）・文化展（出品者420人）を開催しました。しょうがい者巡回パネル展では、各障がい者施設の通所者が作成に携われる参加型とし、施設紹介や施設のお祭りの様子等をパネルにして展示しました。また、広く区民にご覧いただけるよう、掲示場所を民間施設も含め拡大しました。	7,257,789
施策1-2-4 生きがいと誇りをもって暮らせるまちをつくります			
1	生涯学習リーダーの育成	生涯学習リーダーを育成するため、生涯学習プランナー講座（7回、参加者21人）、生涯学習・社会教育入門講座（3回、参加者39人）、生涯学習コーディネーター講座（5回、参加者17人）を実施しました。 生涯学習プランナー講座修了者及び公募による企画員（21人）が区民参加型企画運営講座（4講座、計28回、参加者359人）を開催しました。 また、地域スポーツクラブ指導者養成講習会（5回、参加者20人）を開催したほか、大森、蒲田地区において地域住民が主体となって運営する地域スポーツクラブの設立支援を行いました。地域活動ステップアップ講座（3回、参加者30人）、青少年リーダー講習会（3講座、計10回、参加者49人）を開催しました。	1,629,289
2	生涯学習センターの整備	生涯学習センター機能について、生涯学習相談会（10回、来場者657人、相談件数134件）の実施等を通じて検討しました。	87,889
3	スポーツ施設の整備（大田区総合体育館の整備）	地上部躯体工事、屋根工事、内外装仕上げ工事、外構工事等を実施し、竣工しました。 指定管理者を指定し、施設を適正かつ円滑に管理するために必要な事項を定めた基本協定書及び年度協定書を締結しました。その後、指定管理者による管理運営を開始しました。	4,794,418,959
4	図書館の改築・改修	入新井図書館において、お話し会（54回、参加者2,478人）やリサイクル市（640冊提供）の開催等、地域ボランティアと連携し、サービスの向上を図りました。 老朽化した図書館について、現状調査及び改築に関する検討を行い、六郷図書館の改築を決定しました。 また、大田図書館の床改修工事、空調改修工事、大森南図書館の消防設備取替工事、大森西図書館の空調機取替工事、池上図書館の屋上防水工事、久が原図書館の照明器具取替工事、六郷図書館の児童室空調設備工事、電気設備等工事等を実施しました。	66,384,364
5	馬込文士村資料の活用	資料整理カード及び保管状況が整備された資料を、馬込文士村展示資料コーナーの展示替えに活用しました。 馬込文士村関連資料約4,000点について、資料カードの作成及び資料カードを基にした目録の作成、保管管理状況の改善、資料の写真撮影、スキャニング（約3,800点）を行いました。また、一部資料については、活字化や初版状況等の関連調査も行いました。	4,197,938
施策1-2-5 安定した暮らしと人権を守ります			
1	女性の就労支援（再チャレンジ等）	女性の働く意欲と能力を活かして再就職や起業にチャレンジできるように、働きたいママのための再チャレンジ応援ナビ（3回、参加者延べ77人）、お仕事復活ナビ（3回、参加者延べ83人）、ぷち起業家になるためのファーストステップセミナー（4回、参加者延べ107人）、お仕事女子の明日への原動力（3回、参加者延べ66人）を開催しました。 また、女性のための就労応援フェア（1回、参加者33人）、パパの手でつくる赤ちゃんのハッピースマイル講座（4回、参加者延べ106人）、パパとキッズの真夏のチャレンジ大作戦（3回、参加者延べ105人）を開催したほか、パネル展を実施しました。 働く女性のための相談を実施しました（相談件数145件）。	1,153,770

事業名		内容	決算額（円）
個別目標1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります			
施策1-3-1 高齢者がいきいきと暮らせるまちをつくります			
1	高齢者の就労促進・起業支援	<p>運営主体の社会福祉協議会との調整を行い、平成23年10月に高齢者就労支援センターの準備室を開設し、オープンに向けた準備を開始しました。</p> <p>その後、国や都との調整を行い、社会福祉協議会が無料職業紹介事業の許可を得て、平成24年2月に高齢者就労支援センターを開設しました。</p> <p>開設後は、多くの方が来所し、1か月で521人が利用しました。就労や社会参加に関する相談業務を行う一方、自所求人開拓にも努め、開拓求人数は58人となりました。</p> <p>区、高齢者就労支援センター、大田区シルバー人材センターの共催で、高齢者しごと・元気セミナー（参加者110人）を開催しました。</p>	16,350,790
2	介護予防の促進	<p>高齢者の介護予防を促進するため、アンケート調査（25,757件）を行い、結果を二次予防事業に活用しました。また、通所型介護予防教室いきいきシニア塾（6日制、運動編、栄養編、口腔編、参加者延べ3,127人）や、閉じこもりやうつ、認知症等できいきシニア塾に通うことができない方を対象に、訪問型による介護予防の個別指導（延べ135回）を行いました。</p> <p>元気な高齢者向けに、20か所のさわやかサポートで介護予防教室（243回、参加者延べ3,217人）、本門寺公園等3か所の公園で公園体操講座（30回、参加者延べ1,130人）を開催しました。また、認知症予防教室（2日制5回、参加者延べ224人）、65歳からの筋力アップ教室（11回、参加者249人）、膝痛・腰痛運動教室（4回、参加者209人）、認知症予防講演会（1回、参加者415人）、認知症予防プログラム（7日制、2回、参加者延べ212人）を開催しました。</p> <p>公園体操地域指導員養成講座（27回、参加者延べ417人）、介護予防活動リーダー養成講座（4日制、1回、参加者延べ65人）を開催しました。</p>	283,584,882
施策1-3-2 高齢者が安心できる暮らしを支えます			
1	地域の見守り体制の整備	<p>高齢者見守り・支え合いネットワーク活動事例集、高齢者見守りチェック表、高齢者見守り啓発用ポスター等を作成し、高齢者見守りの啓発を行ったほか、区報で、高齢者見守りチェック表や相談窓口を周知しました。</p> <p>地域での見守り体制づくりのための助成（18自治会・町会）をしました。</p> <p>平成23年度から登録を開始した高齢者見守り推進事業者に、大田新聞販売同業組合や金融機関など11団体が登録し、区と連携した見守りを進めました。</p>	36,996,533
2	家族介護者への支援	<p>平成24年3月に新設した特別養護老人ホームに、ショートステイ（8人）を併設しました。</p> <p>家族介護者に対する介護方法の指導や健康相談等を実施したほか、家族介護者情報誌「ゆうゆう」を発行（4回）しました。</p> <p>認知症予防講演会（1回、参加者415人）を開催し、参加者のうち363人が同日に開催した認知症サポーター養成講座を受講しました。</p> <p>家族介護者支援ホームヘルプサービス事業について、区報で周知（3回）し、サービスの利用実績は延べ2,166時間でした。</p>	13,081,805
3	さわやかサポート（地域包括支援センター）の拡充と福祉ネットワークの強化	<p>さわやかサポート六郷中の、（仮称）仲六郷二丁目複合施設内への移設に向け、機械警備や電話設備等の具体的な検討を行いました。</p> <p>行政情報参照システムの開発・導入に向け、システムの詳細を検討しました。</p> <p>さわやかサポート相談担当職員を対象に、研修を開催（3回、参加者延べ50人）したほか、地域力推進地区委員会への出席を促進し、地域との連携強化を図りました（20か所出席）。</p>	482,330,070

事業名		内容	決算額（円）
4	介護保険施設等の整備支援	<p>特別養護老人ホームの整備を支援し、平成24年3月に千里64床が開設、バタフライヒル大森南80床が竣工しました。</p> <p>認知症高齢者グループホームの整備支援について、2事業者（各3ユニット）を運営事業者として採択し、両事業者とも着工しました。</p> <p>大田区初の都市型軽費老人ホームについては、事業者を公募し、1施設（ケアハウス・ハート20床）が平成24年3月に竣工しました。</p>	602,329,051
5	高齢者総合相談体制の構築	<p>高齢者の相談にいつでも応じることができるよう、区窓口が閉庁している時間帯に高齢者ほっとテレフォンを実施し、相談（相談件数1,409件）に対応しました。</p> <p>高齢者総合相談体制を構築するため、外部委員を含む大田区高齢者福祉施策の再構築に係る検討会（4回）で、高齢者総合相談体制等の方向性や基本方針について検討しました。その結果、さわやかサポートへの支援体制として、行政情報参照システムの開発・導入や、さわやかサポートに対する区のバックアップ体制の強化に取り組んでいくことを確認しました。</p>	8,720,917
施策1-3-3 いざというときに高齢者を支える体制をつくります			
1	高齢者緊急一時保護・支援体制の整備	<p>外部委員を含む大田区高齢者福祉施策の再構築に係る検討会（4回）において、緊急支援機能を検討テーマのひとつとして扱い、緊急時対応を迅速かつ的確に行うため、高齢者の相談窓口と関係各課・関係機関の連携強化及び緊急一時保護施設等の再整備を図ることを方向性とししました。また、区内警察署との連絡会を開催し、認知症高齢者への対応等を情報交換しました。</p> <p>緊急ショートステイについて、利用データを分析し、夏期、冬期に利用が増加することを把握しました。これを踏まえ、緊急ショートステイ床数の検討を行い、1床増の5床が現状では適当であることを確認しました。</p>	10,409,000
2	高齢者等の権利擁護の推進	<p>成年後見制度やその相談窓口及び高齢者虐待防止に関する通報窓口について、区報や介護保険事業者連絡会等で周知しました。</p> <p>家庭裁判所に対し、成年後見制度に関する区長申立て（45件）を行いました。</p> <p>社会福祉協議会成年後見センターにおいて、法人後見（17件）を受任したほか、成年後見制度の活用に向け、窓口相談（1,122件）、専門相談（44件）、成年後見人養成講座（7回、参加者延べ92人）、窓口担当者法律セミナー（4回、参加者延べ70人）を実施しました。</p> <p>また、地域福祉権利擁護事業（55件）と同事業の対象拡大サービス（証書等預かり・支払い代行、15件）を実施しました。</p>	26,241,033
基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市			
個別目標2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します			
施策2-1-1 魅力と個性あふれる都市をつくります			
1	蒲田駅周辺のまちづくり	<p>蒲田駅周辺整備計画策定調査研究会（3回）を開催して、蒲田駅周辺都市基盤整備の検討を行い、蒲田駅周辺整備計画のたたき台をまとめました。また、蒲田駅周辺の在住・在勤者等を対象に、蒲田駅周辺まちづくりに関するワークショップ（1回、参加者48人）、タウンミーティング（1回、参加者55人）を開催しました。</p> <p>対象街区地権者の権利関係を調査し、地権者データを作成しました。地権者458人に事前案内を発送した上で、蒲田駅周辺のまちづくりに関する地権者説明会（1回、参加者87人）を開催しました。その後、意向調査、ヒアリングを実施し、準備会立ち上げに向けた調整を行いました。また、川崎駅周辺整備の視察（1回、参加者14人）、蒲田駅周辺まちづくりに関する懇談会（1回、参加者33人）を実施し、組織化に向けた意識付けを行いました。</p> <p>旧逆川の整備については、蒲田再開発推進委員会ワーキンググループ主催による検討会（8回）を開催し、デザイン基本方針を決定しました。道路改修工事の設計（延長210m）、植栽撤去、仮舗装（217㎡）、パイプ柵設置（99m）を完了しました。</p>	38,766,325

事業名		内容	決算額（円）
2	大森駅周辺のまちづくり	<p>大森駅周辺地区グランドデザインアクションプランの平成23年度から25年度の目標（計画）を明記した取組状況シートを作成し、ホームページで公表したほか、地域団体や事業者等へ郵送（34団体）、説明（25団体）を行いました。</p> <p>大森駅周辺地区グランドデザイン推進に向けた調査の中で、①戦略的エリアマネジメントの方向性調査、②山王1・2丁目地区の整備課題の抽出・整理、③案内サインの必要性及び有効性の検討、④東西連絡通路等の方向性の検討を行いました。</p> <p>大森駅周辺地区グランドデザインで取り上げられた課題解決を地域住民とともに考えるため、対象街区地権者を対象に、まちづくり説明会（1回、参加者71人）を実施しました。</p> <p>その後、地権者組織の設立に向け、地権者の意向を把握するためアンケートを実施し、本組織へ向けた準備を進めました。</p> <p>大森複合施設ビル（Luz大森）の管理運営について、にぎわい指標としてテナントのレジ通過数を設定し、運営状況を把握しました。</p> <p>また、庁内連絡調整委員会（2回）を開催して、問題点の整理や解決策の検討を行い、運営者と協議した上で、可能な解決策を実行しました。</p>	17,290,119
3	身近な地域の魅力づくり	<p>「人と緑と文化の調和するまち」をめざした大岡山駅周辺地区の整備を進めるため、区画街路第1号線の鉄道蓋かけ工事を継続的に施工しているほか、契約買収（1画地、56.78㎡）を行いました。</p>	1,546,052,465
4	京浜急行線連続立体交差事業における駅周辺のまちづくり	<p>京急蒲田西口地区について、第一種市街地再開発事業の建築物及び公共施設の詳細設計や、各まちづくり推進団体への活動費への助成を行いました。</p> <p>また、蒲田4-1街区の都心共同住宅供給事業について、解体工事、建築工事に助成しました。</p> <p>糀谷駅周辺地区については、再開発準備組合が行うワークショップ開催の支援を行いました。</p> <p>平成24年3月に、準備組合が東京都に、再開発組合設立認可申請を行いました。</p> <p>雑色駅周辺地区については、再開発についての事業採算性や地区計画導入の検討を行うとともに、まちづくり研究会の活動や広報紙の発行などを支援しました。</p>	460,637,131
施策2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります			
1	京浜急行線連続立体交差事業の推進	<p>連続立体交差事業を推進するため、連続立体交差事業負担金や京急蒲田駅総合改善事業補助金を支出しました。</p> <p>連続立体交差事業では、大森町駅の上りエスカレーター及び仮駅舎が供用開始となりました。</p> <p>また、京急蒲田駅3階の下り線軌道敷設や平和島側、六郷土手側、大鳥居側の高架橋への取付部の工事を行いました。</p>	907,984,260
2	新空港線「蒲蒲線」の整備促進	<p>新空港線「蒲蒲線」の整備促進に向け、新空港線「蒲蒲線」調査に伴う勉強会（2回、国、都、鉄道事業者、区等で構成）を開催しました。</p> <p>国の予算説明会や自治体ヒアリングの機会において、検討状況を説明するとともに、別途個別に、国宛てに協力要請を行いました。</p> <p>新空港線「蒲蒲線」整備促進協議会（1回、参加者232人）を開催し、「羽田空港の国際化・容量拡大と新空港線「蒲蒲線」の必要性」というテーマで、明治大学公共政策大学院教授の青山侑氏に講演をいただきました。</p> <p>平成22年度までの調査のとりまとめを公表するとともに、調査結果を踏まえた新たなパンフレットを作成しました。</p>	5,607,175

事業名		内容	決算額（円）
3	都市計画道路の整備	<p>交通円滑化を図るとともに、安全で快適な歩行者空間を確保するため、補助44号線の、復元測量、管理舗装を行ったほか、契約買収（4画地、225.23㎡）を行いました。また、土地収用法の裁決申請（1画地、115.52㎡）をし、その一部について売買契約の締結を行いました。さらに、土地開発公社から用地（187.50㎡）の買戻しを行いました。</p> <p>補助43号線については、事業認可を取得し、用地買収折衝に取り組みました。契約買収（3画地、339.02㎡）を行うとともに、代替地（1画地、550.13㎡）を取得しました。また、復元測量、管理舗装を行いました。</p>	389,809,837
4	コミュニティバスの導入検討、運行支援	<p>矢口地域におけるコミュニティバス（たまちゃんバス）の運行事業者へ運行事業補助金の交付、利用促進策の検討、利用案内の配布、イベントによるバス利用PR等の運行支援を行いました。</p> <p>平成23年度の乗車人員は、約38,000人、1便あたりの平均乗車人員は6.7人でした。</p> <p>地元関係者で構成する大田区コミュニティバス等検討会議・作業部会（3回）を開催し、運行検証結果に基づく利用促進、サービス水準の改善、事業採算性の向上等の課題を検討しました。</p>	8,860,928
5	自転車駐車場の整備	<p>京急蒲田呑川緑道（100台）、京急蒲田東口駅前広場臨時（85台）、多摩川駅前（142台増設）、石川台駅線路脇（45台増設）、蒲田駅西口環八下（464台増設）の整備工事が完了し、供用開始しました。また、久が原駅前（135台）の整備工事が完了しました。</p>	164,489,779
6	京浜急行線連続立体交差事業関連街路の整備	<p>関連街路の整備を進めるため、用地取得として2画地（計3.21㎡）の地権者と契約するとともに、土地収用法の和解により1画地（183.26㎡）を取得しました。これにより、用地契約率は、平成23年度に新規で事業認可を取得した路線を含め87.11%となりました。</p> <p>また、土地開発公社に依頼して先行取得した画地のうち460.55㎡を買戻しました。</p> <p>東京都受託分の関連街路用地として残る1画地（111.21㎡）について地権者と契約し、受託分用地契約率は100%となり完了しました。</p> <p>補助線街路第328号線の整備工事（交差点整備・下水道管新設・電線共同溝）や整備工事に伴う補償工事、放射第19号（京急蒲田駅東口駅前広場）や大田歩行者専用道第1号線の実施設計、区画街路第2号線、本線付属街路第1・2号線の電線共同溝、街路整備の設計委託等を行いました。</p> <p>また、東京都からの受託事業である関連側道（空港線付属街路第1号線）の整備工事を行いました。</p>	1,782,964,203
施策2-1-3 潤いとやすらぎのあるまちをつくります			
1	公園の整備	<p>田園調布せせらぎ公園について、公園増設部分の設計及び整備工事が完了しました。東蒲田公園について、整備工事が完了しました。佐伯山緑地について、整備工事（第2期）が完了しました。馬込自然林緑地について、隣接する南馬込二丁目区民緑地と一体的に整備し、整備工事が完了しました。あすなろ児童公園、千束児童遊園、萩中児童遊園、森ヶ崎交通公園について、整備工事が完了しました。</p>	1,047,827,781
2	魅力ある公園のリニューアル	<p>公園のバリアフリー化を推進するため、萩中公園（第3期）、洗足池公園（第2期）、池上梅園（第1期）の設計を完了しました。平和の森公園（第1期、第2期）、萩中公園（第3期）、洗足池公園（第1期）、都堀公園の工事が竣工しました。</p> <p>ふくし公園に健康遊具を設置し、桜並木公園、北三児童公園、はなみずき児童公園、蒲田本町一丁目公園、西六郷二丁目児童公園、森ヶ崎公園、洗足池公園、平和の森公園、すずむし児童公園の遊具改修を行いました。</p> <p>洗足池公園で桜の更新工事を行い、桜を5本植樹したほか、200本の樹勢回復を行いました。</p>	281,400,200

事業名		内容	決算額(円)
3	呑川緑道の整備	水と緑の輝きや四季の変化を楽しめる散策路を整備するため、緑道整備工事(73m)及び実施設計(360m)を完了しました。	18,435,900
4	桜のプロムナードの整備	水と緑のネットワークの充実を図るため、散策路整備工事(281m)及び設計(420m)を完了しました。	70,732,200
施策2-1-4 安全で安心して暮らせるまちをつくります			
1	自転車等利用総合対策	自転車等駐車対策協議会(3回)を開催し、料金体系の見直しや放置防止への対策、自転車走行ネットワーク計画等の検討を行いました。 また、自転車駐車場の料金体系や商業施設等への附置義務の見直し等「とめる」を主に検討する第一委員会(3回)、自転車走行ネットワークの構築等「はしる」を主に検討する第二委員会(3回)を開催しました。 駐車対策、放置防止対策、走行環境整備、ルール・マナー啓発等を記載する整備計画(案)策定に向け、現状と課題を整理して、施策の取り組みの方向性について取りまとめました。	27,528,569
2	だれでもトイレの整備	鶉の木二丁目児童公園、仲六郷三丁目第二公園、若竹公園、大森西四丁目公園、南蒲公園の公園便所及び多摩川野球場前公衆便所において、「だれでもトイレ」の改築工事を完了しました。また、萩中一丁目公園、西六郷二丁目児童公園、森ヶ崎交通公園において、新設工事が完了しました。	107,175,100
3	橋梁の耐震性の向上	関係機関との協議調整を行いながら、弾正橋の架替設計を行いました。 仲ノ橋の架替工事は、地元への周知説明を行い、現場着手、旧橋の撤去を行いました。 八幡橋の架替工事は、右岸側橋台の築造、左岸側旧橋台の撤去を行いました。 新馬込橋の架替工事は、工事契約を行い、関係機関との協議調整を行いました。 大森東避難橋の耐震補強工事が竣工しました。 西三跨線人道橋、第二中谷跨線人道橋は、耐震補強設計が、新根方橋、富士見橋は耐震補強調査設計が完了しました。 町屋跨線人道橋、仲町跨線人道橋、薬師跨線人道橋の耐震補強工事が完了しました。	1,325,543,040
個別目標2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります			
施策2-2-1 世界へ羽ばたくまちをつくります			
施策2-2-2 未来につながる臨海地域をつくります			
1	海辺の散策路整備	都区検討会(7回)を定期的に開催し、臨海部の埋立地を結ぶ緑のネットワークの形成に向けた拠点整備や散策路の整備手法について検討しました。 大森東、大森南(延長合計1,200m)の散策路設計、呑川、北前堀横断部(延長合計150m)の橋梁比較設計及び地質調査が完了しました。 大森東(延長200m)、羽田旭町(延長200m)の散策路整備が完了しました。	99,375,837
施策2-2-3 国際都市として交流を育みます			
個別目標2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します			
施策2-3-1 ものづくり産業を育み、世界に発信します			
1	工場の立地・操業環境の整備	区内工場の立地・操業環境を向上させるため、事業の拡張や高度化を図る企業に助成(20件)したほか、新規に助成する企業(7社)を認定しました。 産業支援施設指定管理者による賃貸工場・創業支援施設等のモニタリング評価を実施しました。 東糞谷六丁目工場アパートの整備について、経費の一部を助成しました。当アパートは、区が民間から借り上げて管理する集合型工場であり、区内における工業の立地・操業環境の整備を推進し、高付加価値を生み出すものづくり産業の集積、維持及び発展、さらには高い技能・技術力の承継を図る施設として整備されました。	221,149,887

事業名		内容	決算額（円）
2	新製品・新技術開発の支援	<p>開発スタート助成（上限200万円）1件（申請2件）、開発ステップアップ助成（上限1,000万円枠）4件（申請11件）、（上限500万円枠）7件（申請17件）に助成しました。また、試作段階の開発を終え、デザイン、知的財産権の取り組み等実用化・製品化をさらに強力に支援するため、新規に実用化製品化助成（上限100万円）12件（申請24件）に助成しました。</p> <p>さらに、ものづくり新製品・新技術実用化緊急支援事業（上限500万円枠）7件（申請15件）、（上限1,000万円枠）2件（申請2件）に助成しました。</p> <p>新製品・新技術コンクールについては、応募件数が25件、受賞企業は延べ10社でした。昨年度までの賞に加え、東日本大震災の復興に資する賞として「復興支援特別賞」を特別に設けました。また、新たな試みとして表彰式当日に「受賞企業プレゼンテーション」を実施し、大田工業フェア来場者への技術PRを実施しました。</p>	141,866,431
3	海外市場開拓支援	<p>企業の取引拡大につながる海外展開を支援するため、タイのオオタテクノパーク入居に向けて準備を進める企業（30社）と、現地において施設・政府機関や関連企業の紹介等（5回）を実施しました。</p> <p>中国市場展開の支援として、中国の大連において、大田工業連合会加盟企業（20社）と、現地企業との商談会を開催しました。</p> <p>また、海外見本市への出展支援（延べ32社）を実施しました。</p> <p>海外取引相談（477件）を行ったほか、海外市場調査（中国6都市、タイ1都市、マレーシア2都市、ベトナム1都市、シンガポール1都市、インドネシア1都市）を実施しました。</p>	27,036,029
4	次世代ものづくり人材の育成	<p>小中学生のものづくりへの興味・関心を促すため、ものづくり実践教室（参加者235人）、産業のまちスクール（参加者48人）等を開催しました。</p> <p>人材育成のため、技術指導講習会（5講座、参加者延べ165人）、次世代経営者育成セミナー（2回、参加者延べ30人）を開催しました。</p> <p>若手求職者と大田区企業との出会いの場を提供するため、ヤングジョブクリエイションおおた2011「若者と中小企業とのマッチングフェア」（参加者600人）、プレ就職面談会（2回、参加者延べ105人）を開催しました。</p> <p>ものづくり人材育成プロジェクトとして、ものづくり人材育成・確保に寄与する取り組みを行った企業（2社）に助成したほか、中学校生徒職場体験を受け入れた企業（14社）に助成しました。</p>	21,476,130
施策2-3-2 暮らしを支えるあきないを熱く盛り上げます			
1	商店街景観整備事業	<p>大森本町ミハラ通り北商店会、大森ミハラ通り仲町商店会、ミハラ南商店街振興組合、するがや通り商店会において、景観整備（ファサード整備）を実施し、平成24年3月に竣工しました。</p> <p>中小企業診断士による、景観整備事業実施及び旧跡や歴史的な出来事の掘り起こしなど協議会運営に関する勉強会（16回）を実施しました。</p> <p>また、他候補地の商店街については、協議会設立に関する勉強会（参加商店会役員11人）を実施しました。以後、商店街の現状調査及び他の商店街の事例に関する勉強会等を、商店会が主体となって実施しました。</p>	36,772,000
2	ふれあい商店街事業	<p>西蒲田商店街交友会に、区内で6か所目となる「お休み処」を開設しました。</p> <p>既に開設している矢口の渡商店会、日の出銀座商店街、雑色商店街、長原商店街、梅屋敷東通り商店街について、運営費の一部を助成しました。</p> <p>商店会長を通じて利用者への聞き取り調査を行い、現地での利用状況等を把握しました。その結果、午前中はサラリーマン、午後は小学生や買物に来ている比較的若い世代の主婦の利用があること、トイレは清潔に使用されていること、ゴミの量が多く処分に手間がかかること、利用されている方からは評判が良いこと等を確認しました。</p>	5,241,000

事業名		内容	決算額（円）
3	商店街イベント・機能向上の支援	商店街が実施する、地域住民が参加でき、販売促進の効果が期待できるイベント事業に助成（168事業、84商店街）しました。 また、商店街が実施する商店街の環境整備で、集客効果が期待できる活性化事業に助成（13事業、13商店街）しました。	289,000,600
4	おおた商い観光展の開催	平成23年10月に、区の観光資源を全国に発信する「おおた商い観光展」（来場者延べ10,393人）を開催しました。観光・観光関連産業・特産品等について、129の商店・企業・団体が出展したほか、「OTA!いちおしグルメ表彰式」「観光シンポジウム」等、各種イベントを開催しました。 東日本大震災復興支援として、宮城県東松島市、岩手県、福島県、茨城県に出展誘致を行い、3団体の出展がありました。 「商い・観光・匠」のビジネス交流として、取引先となる企業等へのPRを充実し、24件の商談がありました。	11,536,779
5	サービス業実態調査とマッチング支援	平成23年度以降の課題としていた、情報提供や支援策の強化に向けた取り組みを行いました。区報で、融資制度を広く周知（4回）したほか、商業版の産業情報誌「あきnow」を発行（1回）し、区内の飲食店等に配布しました。 あきない・サービス系産業団体等経営革新支援事業として、技術講習に関する講習会等に助成（14回）しました。 経営改善や新規事業・販路開拓等に取り組む企業等に、専門知識を有する人材を派遣し、問題解決をサポートするビジネスサポートサービスについて、支援協力者登録数が97人（前年度比9人増）となり、派遣（400回）を実施しました。 テーマを「モノづくり」「観光、商業・サービス」「コミュニティビジネス」に設定して、ビジネスプランを募集、受賞者（8件）を選定し、表彰式を行いました（来場者127人）。	9,311,687
施策2-3-3 大田区の観光を世界に発信します			
1	にぎわいを生み出すスポットづくり	区内の名所をテーマごとに巡る大田再発見ツアーとして、「のりのりビーチフェスタ」（2回、参加者延べ1,000人）等を実施したほか、区内の見どころを写真撮影しながら散歩するてくてくフォト散歩として、「多摩川下流自然巡り」（参加者21人）等を実施しました。 大田区の観光スポットを紹介するため、観光まちづくりガイド養成講座（受講者22人）、「羽田空港ウォーキング」（参加者100人）を開催しました。また、品川区との連携で事業展開する、まちづくり推進協議会において、「旧東海道を行く！銭湯&商店街グルメウォーク」（参加者1,072人）等を実施しました。 観光まちづくり助成事業として、区民活動団体が作成する「大森アートマップ」に助成しました。	2,000,000
2	ものづくりのまち体験ツアーの実施	大田区町工場・工業に関する基礎調査等の結果を、「大田モノ・まちBOOK2011」に集約しました。町工場の協力のもと、工場を開放し、ものづくりを体験できるツアー「オープンファクトリー」（参加者1,200人）、「工場見学・体験ツアー」（参加者120人）を実施しました。 大田工業フェアで、ものづくり観光についてのパネル展示を行いました。	4,280,000
3	シティセールスの実施	大田区の観光を効率的に発信するため、国内・海外ともに既存の観光情報媒体に記事掲載を行いました。 蒲田が、国の訪日外国人旅行者受入環境整備事業の戦略拠点としての指定を受けたことに伴い、「大田区ウェルカムショップ」「大田区まちかど観光案内所」として区内飲食店等の登録制度をスタート（各70店以上登録）しました。また、蒲田PRパンフレット「KAMATA 旅するあなたのそばに」を5か国語で作成しました。 大田区観光大使として新たに8人を任命し、平成22年度から継続の7人とあわせて15人となりました。 東京観光財団主催の「トラベルマート」（2回）に参加し、旅行会社をはじめ観光関係事業者に大田区の観光をPRしました。	35,528,194

事業名		内容	決算額（円）
基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち			
個別目標3-1 地域力を活かし、人に優しいまちを区民主体で実現します			
施策3-1-1 地域力の土台づくりを進めます			
1	NPO・区民活動フォーラムの開催	<p>区民の地域活動への参加を拡大し、区民活動団体と行政、企業間の連携を促進するため、NPO・区民活動フォーラム（1回、来場者延べ879人）を開催しました。</p> <p>区民活動団体の活動を紹介するパネル展示（57団体）や、団体交流（参加者48人）、「昭和の蒲田ツアー」（参加者35人）、「大田区・東松島市つながるTシャツワークショップ」（参加者25人）、各種講座（3回、参加者延べ75人）を実施しました。</p> <p>NPOや区民活動団体による運営に段階的に移行するため、パネル展示において、区民活動団体による実演形式の説明が実施されました。</p>	543,764
2	区民活動・地域活動を支援する拠点の整備	<p>区民活動支援施設蒲田の利用状況等を検証し、平成24年度は、施設の活性化及び利用者拡大を図り、新たな区民活動支援施設については、引き続き検討するという結果を区民協働推進会議に報告しました。</p> <p>入門・団体育成講座（参加者45人）のほか、区民活動団体の紹介や、参加のコツを教える区民活動講座（参加者20人）、自治会・町会の地域活動について、理解を深めるおおた地域力発見倶楽部講座（参加者17人）、区民活動団体の発表、交流の場として、NPO区民活動フォーラム連動講座（参加者12人）を開催しました。また、おおた工業フェアの会場で、企業の地域貢献活動講座（参加者10人）を開催しました。</p> <p>地域協働協力員（1人）を配置し、地域課題の解決に向けた特別出張所、自治会・町会、NPO等の連携・協働を支援するため、打合せ会での助言、団体情報の提供等を行いました。</p> <p>区民活動やその連携・協働に関する基本的な知識・技能をもった人材を養成するため、区民活動コーディネーター養成講座（8回、参加者30人）を開催しました。</p>	1,724,372
施策3-1-2 地域力を活かした取り組みを進めます			
1	協働推進講師派遣事業	<p>地域の中で学習会や講演会を行うことで、協働事業を広げるきっかけとするため、自治会・町会や区民活動団体からの要望に基づき、NPOを主宰する方を講師として派遣（9回）し、子どもの見守り、健康、防災、ガーデニング、外国語等に関する講演等を実施しました（参加者556人）。</p>	242,435
2	地域力応援基金助成事業	<p>公益性があり、広く社会貢献につながる活動を行う区民活動団体に、活動段階に応じた支援を行うため、スタートアップ助成として新規に7団体、昨年度からの継続で7団体に助成しました。また、ステップアップ助成として新規に8団体、昨年度からの継続で5団体に助成しました。</p> <p>ジャンプアップ助成として2つのテーマ（高齢者が住み慣れた地域で暮らすための環境づくり、世界とつながる生活（イキイキ）観光都市づくり）を提示し、2団体に助成しました。</p>	29,074,131
3	地域活性化事業への支援	<p>自治会・町会が他の区民活動団体等と連携して実施する事業を支援する仕組みとして、地域の防災・防犯を高める事業（13自治会・町会）、コミュニティの形成に役立つ事業（37自治会・町会）、地域の福祉力を高める事業（2自治会・町会）に助成しました。</p>	5,173,066
4	自治会・町会会館の整備助成	<p>自治会・町会活動の充実を図るため、自治会・町会会館の新築（1件）、改築・解体（2件）、修繕（5件）に助成しました。また、平成24年度に助成するために、修繕（2件）の交付決定を行いました。</p>	57,844,428
5	地域力推進会議・地区委員会の充実	<p>地域力推進会議（10回）、地域力推進地区委員会（延べ165回）を開催し、それぞれの地域の課題について検討を行いました。</p> <p>昨年度に引き続き、8地区で16の地域力推進地区委員会分科会（地域活性化関係6分科会、環境・美化関係2分科会、安心・安全関係7分科会、子ども・文化関係1分科会）において、地域課題の解決に取り組みました。</p>	1,253,436

事業名		内容	決算額（円）
6	区民活動情報サイトの整備・活用	地域の区民活動に関する有益な情報をインターネットで集約・発信する区民活動情報サイト（愛称 オーちゃんネット）を、区報やホームページで広報し、登録団体が364団体（前年度比82団体増）となりました。 音声読み上げ機能等を改善し、高齢者の利用に配慮した情報提供を行ったほか、カレンダーからの検索等の改善により、サイト内検索機能の充実を図りました。	1,406,571
施策3-1-3 誰もが暮らしやすい地域をつくります			
1	多文化共生推進センターの整備	区内の多文化共生の拠点である多文化共生推進センターにおいて、13か国語での外国人向け多言語生活相談、行政情報の翻訳、区施設への通訳派遣、異文化交流会（2回、コリアンデー、参加者780人、大田区の姉妹・友好都市を知ろう、参加者220人）等の事業を行いました。	17,688,647
2	外国人のための日本語教室の充実	日本語ボランティア養成講座（18回、参加者延べ207人）等を実施し、区民ボランティアの育成を行いました。 また、外国人に対する日本語習得支援として、区内の日本語教室の連携により、学習者の出身国、年齢、性別に合わせた指導員配置や、育児中の学習者でも気軽に参加できるように保育を付ける等、学習者のニーズに応じた日本語教室（24回、参加者延べ315人）を実施しました。	2,200,000
3	身近な暮らし情報の発信	リビングガイドの改訂を行い、携行しやすいように従前のA4判からA5版に小型化するとともに、行政情報のみならず地域情報や多言語で受診できる医療機関情報等を掲載し、内容の充実を図りました。 外国人区民向け情報誌「Ota City Navigation」について、年4回の発行から、年8回の発行とし、区報に掲載している内容の要旨を翻訳して掲載する等、区報との連携及び内容の充実を図りました。	6,079,936
施策3-1-4 地域文化の創造とふれあいづくりを進めます			
1	地域文化振興プランの策定・実施	大田区ミュージアムマップに掲載する官民施設との連絡会（3回）を実施し、大田文化の活性化・参加団体の共同事業について協議しました。 共同事業として、民間ミュージアム共同展示会の実施のほか、ホームページに民間博物館・美術館等を掲載し、ネットワーク化を図りました。 外国からの来訪者に向けた案内用として、英訳版の「大田区ミュージアムマップ」を作成するとともに、英訳版の施設案内表示を作成しました。	99,700
施策3-1-5 自分たちのまちは自分たちで守ります			
1	防災情報基盤の整備	区報、ホームページ等で区民安全・安心メールサービスの広報を行い、登録者数が47,100人（前年度比2,070人増）となりました。 緊急地震速報が発せられた際、導入している機器が正常に作動することを確認することにより、運用及び検証を行いました。 デジタル防災行政無線の整備について、再送信子局1局、難聴対策として新規屋外拡声子局3か所、老朽化設備の改修95か所を実施しました。 固定系防災無線の更新に伴い、区施設174か所に戸別受信機を設置（デジタル型への移行）しました。	413,962,500
2	地域防犯活動の支援	地域全体の防犯活動を強化し、犯罪抑止力を高めるため、地域安全・安心パトロールへ助成（新規：9団体、新規助成から3年以上継続：51団体）し、団体数は257団体（前年度比9団体増）となりました。 ホームページ等により、こどもSOSの家について周知を行い、登録協力員数が5,576人（前年度比10人増）となりました。 青色回転灯装備車両によるパトロール（274回）を実施しました。	35,638,550

事業名		内容	決算額（円）
3	災害時相互支援体制の整備	<p>避難支援プランを作成するための参考として、要援護者対策及び名簿の有効な活用を検証するため、4つの自治会・町会をモデル自治会・町会として指定しました。</p> <p>講師を大田区被災地支援ボランティア調整センター事務局長とし、災害時要援護者の支援を考える講習会（1回、参加者212人）を開催しました。</p> <p>矢口地区の防災講習会（1回、参加者56人）に外部講師を派遣したほか、区職員を地域の防災講座等（38回）に派遣しました。</p> <p>防災関連図書9冊、DVD2枚を購入し、防災ライブラリーを充実しました。</p>	273,430
4	地域防災活動の支援	<p>災害時における区民の自主的な活動体制を確立するため、防災市民組織（202組織）や市民消火隊（142組織）が訓練等を実施する場合等について、助成しました。</p> <p>防災市民組織、市民消火隊ともに新たに1組織が結成されました。</p> <p>ポンプ操法発表会（3回、出場自治会・町会数延べ60団体）の開催を通じて、ポンプ隊の活動意識の向上を図ったほか、地域住民へ活動紹介を行いました。</p> <p>自助、共助による防災力の強化を図るため、防災講習会（1回、参加者275人）を開催しました。</p> <p>職員が地域の防災訓練に参加し、起震車、煙体験の派遣（306回）や防災パンフレットの配布を通じた「自助」の重要性の呼びかけのほか、仮設トイレ組み立て指導（30回）等を通じた「共助」の呼びかけを行いました。</p>	66,703,933
個別目標3-2 私たち区民が、良好な環境と経済活動が両立する持続可能なまちをつくる担い手です			
施策3-2-1 地球に優しいまちをつくります			
1	環境基本条例の制定と環境基本計画の策定	<p>大田区環境審議会（4回）、庁内検討会（5回）、作業部会（2回）を開催し、環境基本計画案等に関する検討を行いました。</p> <p>素案を作成し、パブリックコメント（意見数102件）、区民説明会（2回、参加者延べ10人）を行いました。</p> <p>大田区環境審議会から、大田区環境基本計画の策定について答申を受け、平成24年3月に大田区環境基本計画を策定しました。</p>	10,807,716
2	エコライフの普及	<p>エコライフの普及に向けた機器等の購入について、助成（太陽光発電339件、太陽熱温水器1件、ソーラーシステム6件、省エネナビ4件）しました。</p> <p>エコライフの普及啓発を図るため、蒲田東口商店街（大蒲田祭）で「おおた打ち水大会」（1回、参加者300人）を開催しました。</p>	101,775,881
3	大田区地球温暖化対策地域協議会の運営・行動指針の実践	<p>区民や区議会議員、学識経験者、事業者、NPO、区等を構成員とする「大田区地球温暖化対策地域協議会」の全体会（3回）を開催し、家庭や事業所における東日本大震災に伴う夏期の緊急節電への対応事業の検討・実施を行ったほか、大田区環境基本計画の策定に向けた意見交換等を行いました。</p> <p>東日本大震災に伴う、家庭部門における夏期の緊急節電への対応事業として、東京都地球温暖化防止活動推進センターとの協働により、節電に取り組む区民を対象とした「緊急節電チャレンジinとうきょう」を実施しました（勉強会2回、参加者延べ279人、電力削減量29,938kwh、CO2削減量約11.4t）。</p>	1,052,268
施策3-2-2 水と緑を感じるまちをつくります			
1	河川水質浄化対策の推進	<p>水質浄化システムの試作機を呑川に設置し、水質改善効果の調査や浄化システムの評価を行いました。調査の結果、放流口から上流側に150m、下流側に50mの範囲で溶存酸素濃度の改善が見られました。</p> <p>また、効率的な浄化システムとするため、試作機の改良を行いました。腐食性ガスの調査を行い、数値が高い地域を把握しました。</p> <p>大学と協働で、汚濁メカニズムの調査等の研究を実施しました。</p> <p>流域対策として透水性舗装工事（1,995㎡）、道路浸透ます工事（37か所）を完了しました。</p> <p>また、浄化についての啓発活動を行いました。</p>	96,827,658

事業名		内容	決算額（円）
2	グリーンプランおおたの策定・推進（緑の基本計画改定）	大田区緑の基本計画「グリーンプランおおた」の推進を図るため、グリーンプランおおた推進会議（3回）及び庁内推進会議（5回）、作業部会（5回）を開催し、各種みどり施策の課題の整理と今後の取組み等を検討しました。 また、区民意見交換会（2回、参加者延べ21人）を開催しました。 みどりの施策基礎調査を実施し、計画の推進に向け、施策の見直しの方向性等の検討を行いました。	4,093,500
施策3-2-3 ごみのない循環のまちをつくります			
1	ごみ減量・3R推進のPR実施	ごみと資源の正しい出し方等を記載した「清掃だより」（6回）を発行し、地域力推進委員会等で配布しました。 また、ごみ分別の啓発用ポスターを、区設掲示板に掲示（6回）しました。 スケルトン清掃車による啓発を、区立小学校（23回）のほか、環境フェア、OTAふれあいフェスタ等で行いました（5回）。また、区立小学校（23校）で、区職員による環境学習を実施しました。	8,520,366
2	資源回収の充実	清掃・リサイクル協議会（4回）を開催し、資源モデル回収事業の内容等の協議を行いました。また、庁内検討会（5回）を開催し、実施地域、回収品目等具体的な事業内容を検討しました。 検討の内容を踏まえ、平成24年2月から3月に資源モデル回収事業を実施しました。16,819世帯を対象として、週1回の収集で、収集量は合計19.3トンでした。	5,354,552
3	清掃事務所などの整備	清掃事務所・事業所のあり方を検討する庁内検討会を開催（6回）し、清掃施設整備について検討しました。 大森清掃事務所が竣工し、開所式及び内覧会（参加者164人）を行いました。旧大森清掃事務所から移転し、新事務所での業務を開始しました。	349,061,626
個別目標3-3 区は、効率的で活力ある区政を実現し、地域との連携・協働を進めます			
施策3-3-1 行政力を最大限に発揮できる体制をつくります			
1	調査研究・企画機能の拡充	自治基本条例の制定手法等、及び「新しい公共の場」づくりのための地域協働体の仕組みについて調査研究を行いました。 地方分権改革の推進に関する法律の施行に伴い、義務付け・枠付けの見直し、事務権限の移譲等について、区への影響を分析・整理しました。 東京都が国へ申請した「アジアヘッドクォーター特区」が国際戦略総合特別区域に指定されたことを受け、特区の一翼を担う羽田空港跡地に整備する産業交流施設の基本的機能等を検証するため、大学等をヒアリング対象に取り入れた調査を行い、報告書を作成しました。	2,598,305
2	行政情報基盤の整備	基幹系システムについては、税務等、当初賦課処理などの年次処理のほか、オンラインサービスについて、サービス停止を伴う大きな障害もなく、安定した運用ができる環境が整いました。 外部接続環境については、利用状況調査を行い、電子メール等インターネットの使用頻度調査を実施しました。 統合型GIS（地理情報システム）については、単に地図情報として活用するだけでなく、公有財産など各課で管理する業務システムとの連携を進め、業務の効率化を実現しました。 夜間・休日窓口での取り扱い業務の拡充にあたり、システム改修・運用面でも適切に対応し、安定した稼働を確保しました。	1,138,250,156
3	区民利用施設の改築	萩中集会所の改築工事が竣工し、平成23年12月にリニューアルオープンしました。	569,840,808

事業名		内容	決算額（円）
施策3-3-2 透明性の高い区役所をつくります			
1	区民の新たな区政参画制度の導入	<p>区政サポーターを公募し、100人を選任しました。</p> <p>制度の趣旨と活動内容を説明し、理解を深めていただくために区政サポーター会議を開催しました。</p> <p>区政課題に関するアンケート調査（2回）や、パブリックコメントへの協力、区の催物のご案内等を行い、それらの活動内容を「区政サポーター活動報告書」にまとめました。</p>	1,087,278
2	主要施策の成果及び達成度の公表	<p>平成22年度の主な事業（おおた未来プラン10年に掲げる主な事業119事業）について、決算特別委員会に「主要施策の成果」を報告し、公表しました。</p> <p>平成23年度に実施した主な事業について、四半期ごとに進捗状況を把握する等、庁内における事業の執行状況の共有化を推進しました。</p> <p>「大田区における事務事業の検証・評価に関する基本方針」に基づき、「平成22年度おおた未来プラン10年に掲げる主な事業の進捗状況報告書」を公表したほか、事務事業の外部評価及び自己評価を実施しました。</p>	954,000
施策3-3-3 地域力を支える区役所をつくります			
1	特別出張所の改築	<p>地域力の推進拠点であり、区民に最も身近な施設として、窓口サービスの向上や地域力の活性化を図るため、老朽化した特別出張所の改築を進めました。</p> <p>鶴の木特別出張所について、新庁舎の工事を行い、竣工しました。</p>	206,918,537